

エスティの 国際交流コーナー



(プ ー リ ム)

皆さん、こんにちは！

やっと春になって、美しい桜の開花が始まりました。このコラムを書いているのは3月末ですので、これから八百津で迎えるはじめての春を楽しみにしています。

3月7日の土曜日に八百津にいた人は午後2時ぐらいに聞こえた奇妙な音楽に気がついたかもしれません。それは八百津町で行われた「第6回プーリムカーニバル」の音楽でした。プーリムはユダヤ教の祭りです。八百津のプーリムパレードを見掛けたことがある方や知らない方のためにプーリムの行事を説明したいと思います。



この祭りが祝う出来事は2000年以上前のことです。昔のイスラエル王国がバビロニア帝国に滅ぼされ、多くのユダヤ人がバビロニアに強制移住させられました。その後バビロニアがまたペルシア帝国に滅ぼされましたので、ペルシアの王の支配を受けました。

ある時ペルシアの王は女王と別れて、帝国の女性の中に新しい妻を探していました。結局選ばれたのは私と同じく「エステル」と呼ばれた女性でした。彼女はユダヤ人でしたが、その事実を隠していました。帝国にはハマンという悪い大臣がいました。彼はユダヤ人を皆殺しにする計画をたてました。しかし、エステルと彼女の叔父であったモルデカイは王の機嫌を取り、彼の悪だくみを妨害しました。その時ユダヤ人が救われたことをプーリムの祭りで祝います。

プーリムの日は、ハロウィーンのように仮装してパレードやパーティーを行います。

ゲームをしたり、「ハマンの耳」と呼ばれるクッキーを食べたりして、家族や友達たちにお菓子などのプレゼントをあげます。

八百津でも仮装パレードと仮装コンテストを行いました。様々な可愛い仮装を着た子供たちが参加してとても楽しそうでした。周りのお店の人は子供たちにお菓子を渡していました。お父さんやお母さんの中には子供の仮装や化粧だけでなく、自分でも仮装していました。みんなで町をパレードした後で、ファミリーセンターで素敵なバルーンショーを見て、「ハマンの耳」を食べて、ゲームを楽しみました。

私は学校の時のプーリムを懐かしく思い出しました。八百津のみなさんと自分の国の祭と一緒に楽しめるのはありがたいことだと思いました。そして、学校訪問で会った子供たちも参加してくれていてすごく嬉しかったです。

ご参加やご声援を頂いた皆さん、ありがとうございました！ 来年も多くの方のご参加をお待ちしています。よろしくお願いします。